

みちしるべ

なりたい自分



定着確認テストについて!

計画的に3年間の学習内容を復習し、どれだけ自分の力になっているかを確認するために、5月、6月、8月(2学期始業式)、10月、11月の計5回、「定着確認テスト」を実施します。このテストの点数も進路選択をする上での参考資料となります。別紙の「定着確認テスト年間範囲表」や通信右側の「学習の方法」を参考に、しっかりと計画を立てて学習に取り組むようにしましょう!

1. 目的

- (1) 各回のテストを通して、3年間の学習を復習し、基礎学力の定着を図る。
- (2) 自分自身の進路選択の参考にする。

2. 実施の方法

(1) テスト問題と解答に関して

①第1回、第4回に実施される

「令和6年度 京都市・乙訓学習確認プログラム 1st・2nd」は…

- ・各教科100点満点とし、5教科で500点満点とする。
- ・**授業の1時間のうち45分間を1教科の解答時間とし、1日で5教科を行う。**
- ・出題範囲は「学習プログラム範囲表」を参照する。
- ・事前に復習問題冊子が配布され、それに基づいて復習を進める。
- ・解答の配布と解説は、後日返ってきます。

②第2回、第3回、第5回は…

- ・各教科40点満点とし、5教科で計200点満点とする。
- ・**国語と社会をAテスト、数学と理科をBテストとし、各教科25分の合計50分、英語はCテストとし、25分で実施します。**
- ・出題範囲は、「令和6年度定着確認テスト範囲表」を参照すること。(別紙参照)
- ・解答の配布と解説は、採点後の授業でそれぞれの教科の先生がテストを返却するときに行う。



(2) テストの受け方に関して

- ・テストの受け方は定期テストと同じです。
- ・テスト用紙は一度に全教科配布されません。時間を見計らって(前半の教科のテストを実施して20分後)順番に配布されます。解答が終わった教科の解答用紙は机の左側に置くこと。置かれた解答用紙は監督の先生が集めます。

5回のテスト実施日に関しては、後日配布する範囲表を見てください!

第1回の京都市・乙訓学習確認プログラムは、5月14日(火)の1~5

時間目を実施します! 後日配布する「予習シート」で対策しよう!

第2回の定着確認テストは6月17日(月)~実施します!

定着確認テストに向けての学習方法! 参考までに!

【国語】 *3年間の総まとめ問題集を繰り返し解く。

＜漢字＞

- ・これまでに学習した漢字は全て書けるようにする。
- ・ことわざ、慣用句、故事成語、四字熟語などにも触れる。

＜現代文(小説・説明文など)＞

- ・様々な文章に触れ、語彙(ごい)を増やす。
文章を読みながら、全体の要旨や段落同士の関係をつかむ練習をする。
- ・朝読書を通して、長い文章(活字)にも慣れる。

＜古典＞

- ・教科書に掲載されている本文は全てすらすら音読でき、現代語訳できるようにする。
- ・現在と意味が異なる古語の復習をする。

＜文法＞

- ・文中での文節相互の関係や品詞分類ができるようにする。
- ・同じ問題でもいいので毎日、短時間でも文法問題を解き続ける。

【 社会 】

- 1、基本的な用語のチェック ⇒ 教科書を読み、太字とその意味をノートに書く。
- 2、自分で調べたり、作業をして確かめておく。
 - ・地理的分野…自分で略地図を作成しながら、必要な情報を書き入れてみる。
 - ・歴史的分野…自分で年表を作ってみて、流れや出来事を理解する。
 - ・公民的分野…関心のあるニュースの背景などを自分で調べ、考えながらまとめてみる。

【 数学 】

- 1、授業中に配布する問題プリントや問題集を使い、見通しを持って取り組むこと。
- 2、特に、「わからない問題」「まちがった問題」は解答を見ながら、繰り返して取り組むことが大切。

【 理科 】

- ・第1回と第4回は、配布される予習シートで勉強をする。
- ・第2回目は、1年生の範囲全部なので、1年生のワークを持っている人は、ワークの各分野の後ろのページにある問題を解いていく。ワークを持っていない人は、1年生の教科書にある各分野の後ろにある問題を解いていく。同時に、1，2年生の復習を各自で問題集を買って、夏休みに入るまでに勉強しておく。
- ・第3回目は、2年生の範囲全部なので、同様に勉強しておく。ただし、夏休み明けなので、予定通り勉強が進んでいけば、すでに基本の復習は終わっているはずである。夏休みからは、各自で問題集を買って、全学年の勉強をしておく。同時に、3年生の内容は、授業の進度に合わせてワークを進めていく。
- ・第5回目は、3年間分の範囲なので、どこまで、計画的に勉強が進んでいるかにかかっている。
- ・何よりも、計画的に勉強を進めることが全てである。

【 英語 】

英文法の基礎を確実に理解しておく。日頃から、文法問題や英語の長文問題を少しずつ練習をしておくこと。3年間総仕上げ問題集のテスト範囲表に合わせて学習を進めていこう。また、アルファベットの文字を丁寧に書かないと、思わぬところで×になります（大文字、小文字の区別、よく似た文字の書き方など）。